

広範囲適用型水性特殊合成樹脂エマルジョン系サーフェーサー

水性ハイブリッドサーフ

高層マンション・ビル等の塗り替えに最適

マンションやビル等の高層化が進み、その塗り替えも増加しつつあります。また、LCC（ライフサイクルコスト）の低減やメンテナンスサイクルの長期化のために、既存塗膜にふっ素樹脂塗料やアクリルシリコン樹脂塗料等の高耐候性の樹脂塗料が採用されているケースも増加しています。

これらの高耐候性塗料（ふっ素樹脂塗料、アクリルシリコン樹脂塗料）は、従来のサーフェーサーでは付着力が十分でないケースもあります。そのような中、ひび割れ追従性を有し、これらの高耐候性塗料への付着性にも優れる万能型サーフェーサーが登場しました。高層マンション、ビル等の塗り替えに最適なサーフェーサーです。

さらに耐候性の高い上塗材と組み合わせることで、長期に亘り躯体を保護します。

特長

幅広い適用性

様々な既存塗膜に対して付着性に優れるため、広範囲にわたっての使用が可能です。

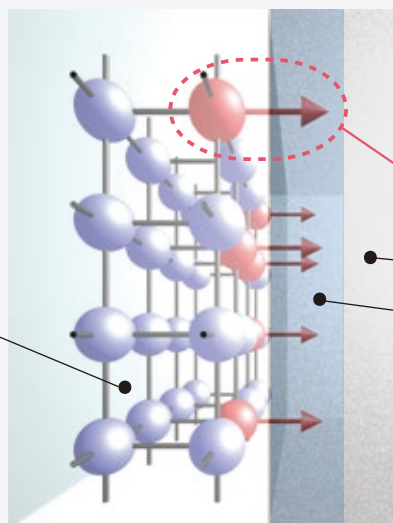
特に、ふっ素樹脂塗料等の高耐候性樹脂塗料が既存塗膜の場合にも適用可能です。

水性ハイブリッドサーフ

中性化抑制

コンクリート躯体の保護性能を高め、中性化抑制効果を発揮します。

付着性メカニズム



ひび割れ追従性

旧塗膜に発生している微細なひび割れを充てんし、可とう性に優れた柔軟な塗膜がひび割れ追従性を高めます。

特殊官能基
(付着性向上に寄与)

躯体

既存塗膜

塗装作業性

塗装作業性に優れ、高層建築物の改修で懸念される塗料の飛散（スパッタ）を抑制します。

改装仕様

(23℃)

工程	材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	●旧塗膜に脆弱部のある場合は、サンダー及び皮スキケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンド KC-1000などで段差修正後、パターンの復元を行ってください。なお、下地調整塗材(ミラクファントKC-1000、ミラクファントKC-2000、ミラクファントKC-3000など)を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコーなどの下塗材を塗付してください。 ●高圧水洗(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							—
1 下塗り (薄付け仕上げ)	水性ハイブリッドサーフ	100	0.30~1.0	1~2	3以上	3以上 (16以上) ^{※2}	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm リシンガン 口径:4~6mm 圧力:392~598kPa (4~6kgf/cm ²)
	清水	2~5	—					
1' 下塗り (厚付け仕上げ)	水性ハイブリッドサーフ	100	0.8~1.5	1~2	3以上	6以上 (16以上) ^{※2}	—	M-9ローラー (マッシュクローラー)
	清水	0~2	—					

※1. 水性ハイブリッドサーフの所要量、塗回数は塗装器具により異なります。詳しくは別表をご参照ください。なお既存パターンや下地の状態により所要量が異なる場合がありますのでご注意ください。
 ※2. 弱溶剤形上塗材を使用する場合の工程間 間隔時間は、16時間以上としてください。

■水性ハイブリッドサーフの施工器具別 施工方法

用途	施工器具	所要量 (kg/m ²)	塗回数
既存塗膜のパターンを生かす (薄付け仕上げ)	ウールローラー	0.30~0.6	1~2
	SPローラー (マッシュクローラー細目)	0.5~0.8	1
	刷毛	0.30~0.8	1~2
	エアレススプレーガン	0.30~1.0	1
	リシンガン	0.5~1.0	1
既存塗膜のパターンを消し、 ローラー模様を付ける (厚付け仕上げ)	M-9ローラー (マッシュクローラー)	0.8~1.5	1~2

■上塗り

	推奨	その他適用可能な上塗り
水性塗料	スーパーセラタイトF エスケーププレミアムシリコン 水性セラタイトF 水性セラタイトS i 水性セラミシリコン	水性エコファイン バイオファイン プリズファイン 水性コンポアクリル 水性コンボシリコン
弱溶剤形	★クリーンマイルドフッソ ★クリーンマイルドシリコン ★クリーンマイルドウレタン ★エスケーププレミアムNADシリコン	★エスケープ液 NAD ウレタン ★液マイルドシリコン ★セラミタウンマイルド ★ナックベース

※この他、弾性上塗材もご使用いただけます。
 ※上塗材は水性または弱溶剤形とし、強溶剤形の上塗材は使用しないでください。
 ※旧塗膜が高弾性の場合は、弾性上塗材を使用してください。
 ※艶消しは適用不可です。

施工上の注意点

- 旧塗膜の状態によりシーラーが必要な場合がありますので、予めご相談ください。(例:脆弱な場合には★ミラクシーラーES、または水性ミラクシーラーエコー施工)
- 旧塗膜は活膜であることが条件です。
- 水性ハイブリッドサーフは改修用の塗材です。新規下地やコンクリート下地の露出面、無塗装面にご使用になる場合は適切な下塗材が必要です。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの各営業所へご相談ください。
- マッシュクローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマッシュクローラー細目をご使用する際はご注意ください。詳しくは最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- かびや藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高温多湿時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈率等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上げ肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器・タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

製品荷姿

水性ハイブリッドサーフ
16kg 石油缶 (標準塗坪 10~53 m²)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境、各仕上げ、施工器具などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

用途

戸建て住宅・マンション・工場等の
建築物の内外壁の改装

【危険情報と安全対策】

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

適用下地

旧塗膜: 高耐候性塗料 (ふっ素・アクリルシリコン等)[※]
 エマルジョンペイント・リシン・スタッコ・吹付タイル (硬質・弾性)
 単層弾性・スキン (陶石リシン) などの活膜下地
 ※(光触媒や無機塗料の塗り替えには使用できません。)

